

(16) 物理学教育における学士力実現のための授業モデルの検討

物理学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年7月、9月、11月、23年2月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

物理的な視点を持って、社会で活躍できる市民を育成することを目指した授業デザインを2例とりあげることにした。

一つは、物理学の基本概念の理解を身に付けさせるため、現象、法則、基本諸概念、及び基本的な物理量などについて総合的に学習できるように、卒業までに自己の学びを継続できる学習モデルを検討している。

二つは、自然現象を科学的な根拠で推論し、自ら考えることができる能力を身に付けさせるため、グループの対面学習での教え合い、学び合い、クリッカー技術による理解度把握を行うとともに、学習成果についてLMS上の掲示板などで意見交換、相互評価を行う授業モデルとした。